

自分の感情とどうつきあうか —乳幼児期から思春期の子どもの世界—

子どもは自分の感情とどうつきあうのでしょうか。
また、養育者、大人は子どもの感情をどうみていくことが必要なのでしょうか。
「感情とは何なのか」「感情の大切さ」
「大人はどのように支えていくことができるのか」など、
乳幼児期から思春期の子どもの感情について
お二人の講師の方、そして本市教育長と共に考えてみませんか。

日時 8月4日(金) 14時から16時30分

(受付開始時間 13時30分)

講師 【乳幼児期】 ^{えんとうとしひこ} 遠藤利彦 氏 (東京大学大学院教授)

【思春期】 ^{よしかわれいこ} 芳川玲子 氏 (東海大学教授)

会場 茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール

(住所：茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号)

定員 120名 (申込制・先着順) (市内在住・在勤の方)

託児 2歳以上10名 (申込制・先着順)

* 2歳以上のお子さんで、一人で遊べるお子さん

* 2歳未満のお子さんをお連れの方は、ベビーカーまたは抱っこで、ご参加ください。

内容 2つの講演と鼎談 (詳細は裏面に)

* 鼎談 (ていだん)：お二人の講師と本市教育長がテーマについて話し合います。

- 申込期間 6月30日(金)～7月28日(金)
- 託児締切 7月25日(火)

お申込みはお電話で 次のことをお伝えください

①お名前と人数 ②ご連絡先電話番号 ③託児のご希望の有無

※ご連絡先電話番号につきましては、緊急の中止の場合等のみを使用し、教育センター内で管理します。

主催 **茅ヶ崎市教育センター** 研究研修担当

〒253-0045 茅ヶ崎市十間坂三丁目5番37号 (市青少年会館3階；梅田中学校前)

TEL.0467-86-9965 (土・日を除く9時から17時まで)

茅ヶ崎市教育センター URL <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kyouiku/1005049/index.html>

プログラムと講師プロフィールは裏面をご覧ください。

【プログラム】

14:00

開 会

講演 1

講 師 遠藤利彦 氏 (東京大学大学院教授)
演 題 「乳幼児期における非認知的な心の発達と養育者の役割
—感情面のかしこさを中核として—」

講演 2

講 師 芳川玲子 氏 (東海大学教授)
演 題 「感情、気持ち、人間関係—思春期の世界—」

鼎談

鼎談者 遠藤利彦氏・芳川玲子氏・神原聡教育長 (コーディネーター)
内 容 シンポジウムテーマ
「自分の感情とどうつきあうか—乳幼児期から思春期の子どもの世界—」
を中心に

16:30

閉 会

【講師紹介】

☞ 遠藤利彦氏 / 東京大学大学院教育学研究科教育心理学コース教授

ご研究内容は、養育者と子どもの関係性、子どもの社会情緒的発達、自律性の基礎となるアタッチメント理論などです。茅ヶ崎市では、この響きあい教育シンポジウム、子育て・子育て出前講座などでご講演をいただいています。

☞ 芳川玲子氏 / 東海大学教育支援センター長、文学部心理・社会学科教授

ご研究内容は、学校における不登校・いじめ防止、学校風土に関する国際比較、学校臨床心理学ケース、救急総合病院における臨床心理士の高度専門性への探求などです。茅ヶ崎市では、教育センター青少年教育相談室スーパーバイザーとしてご指導いただき、この響きあい教育シンポジウムでもご講演をいただいています。